

## ベンチレータの減量作戦

アコマの人工呼吸器が見事に変身を遂げた。最も歓迎すべきは、贅肉を削れるだけ削ってスリムになったことである。ART-2000も昔のエングストロームと比べればずいぶん細身だがコンプレッサー付だと貴花田ぐらいの重量を誇っている。それにコンプレッサーがちとうるさかった。

ART-1000はちょうどART-2000を縦に半分に割ったスタイルである。キャストの幅を狭くすると安定しないから、削り取ったところに加湿器を加え込んだ珍妙なスタイルになった。キャストの付いているベースがちょうどよい脚台になりそうだ。体格の良い看護婦さんが片足で乗って点滴に手を伸ばしてもびくともしないよう、是非補強をお願いしたい。

日本車は燃費向上のために車体重量をぎりぎりまで絞った。ボディの鋼板を強度を落とさずに如何に薄く軽くするかにしのぎを削ったと聞く、もちろん、エンジンの減量も大きくものをいう。

ART-2000はコンプレッサーなしで80kg、コンプレッサー付で130kg。ART-1000はコンプレッサーを止めてモーター駆動のベローズを採用している。これが大きく効いて70kgと大幅な減量に成功した。言わば、エンジン部分の発想を変えて機能と軽量化と一石で二鳥を獲たものだ。消費電力もART-2000（コンプレッサー付）が1150VAであるのに対し、1000はたった175VAで済む。近頃のICUでは、一台のベッドに10基を越える医療機器がつながって、病気を治すのなら良いが長々と時間稼ぎをする。消費電力が多いと金がかかるばかりか、ベッドサイドのコンセントの容量をオーバーしてしまう。だから、消費電力は少なければ少ない方がよい。

ART-1000のベローズは高速で伸びたり縮んだりできるもので、供給ガス流量の範囲も5-65ℓ/minとART-2000の10-60ℓ/minより広い。CPAPなどで流す定常流も10-30ℓ/minとART-2000の

10ℓ/minより高流量までいける。これでプレッシャーサポートも楽々とできる。もうひとつアコマさんの売り言葉を借りれば、吸気のトリガーが圧でもフローでも行えます、ということになる。この程度の機能は最近のベンチレータならどれでもごく当たり前のことで、取り立てて言うほどのこともない。

コンパクトで高性能と言うのは、スカイラインで成功した手だ。モデルチェンジのたんに図体がでかくなるのでは、燃費も出足も悪くなるのは明白の理である。そこで、車体を小さくしたのが大英断だったのだそう。小さくなったが値段は下がらなかったように記憶する。だいたい、あの手の車はもっともっと高くして儲けて欲しい。その分、何の変哲もない車を作ってうんと安くしてもらいたい。

ART-1000で感激したのは、値段が100万円も安くなったことである。減量作戦大賛成、これで少々のことには目をつぶれる。

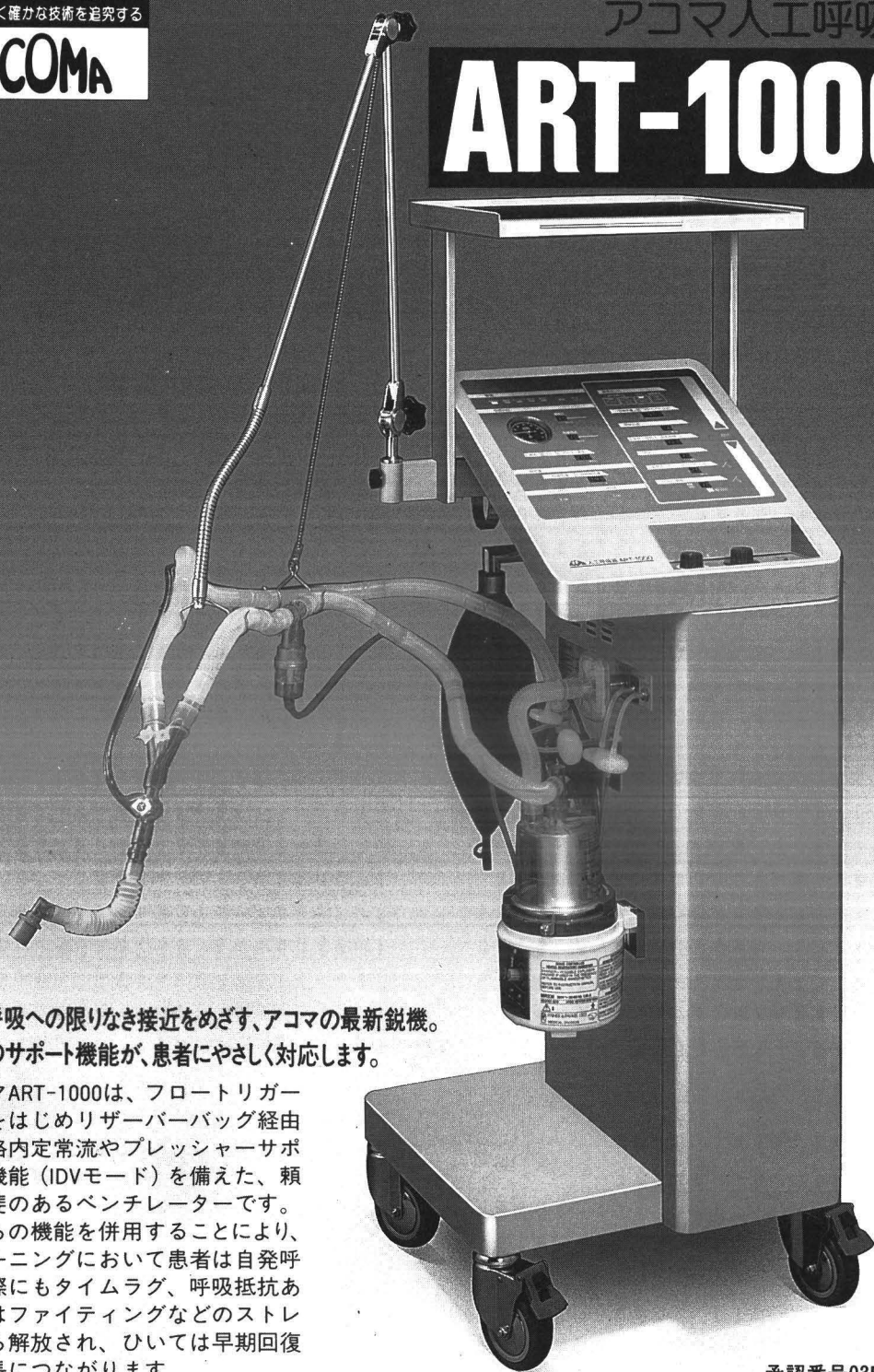
(編集子)

より新しく確かな技術を追突する

ACOMA

アコマ人工呼吸器

# ART-1000



自然呼吸への限りなき接近をめざす、アコマの最新鋭機。  
充実のサポート機能が、患者にやさしく対応します。

アコマART-1000は、フロートリガー方式をはじめリザーバーバッグ経由の回路内定常流やプレッシャーサポート機能（IDVモード）を備えた、頼り甲斐のあるベンチレーターです。これらの機能を併用することにより、ウィーニングにおいて患者は自発呼吸の際にもタイムラグ、呼吸抵抗あるいはファイティングなどのストレスから解放され、ひいては早期回復の助長につながります。

承認番号03B0933

アコマ医科工業株式会社

本社 東京都文京区本郷2-14-14 TEL 03(3811)4151 FAX 03(3811)4158

大阪営業所 TEL 06(351)4530 FAX 06(351)4513  
広島出張所 TEL 082(294)7164 FAX 082(294)7194  
福岡営業所 TEL 092(651)3366 FAX 092(651)1004